

LGBTとオリンピック

いろいろな性とできごとに触れていこう



LGBTのシンボルであるレインボーフラッグ。アメリカのサンフランシスコのギルバード・ペーカーさんが1976年にデザインしました。現在は6色が一般で、それぞれに
レッド：いのち オレンジ：いやし
イエロー：たいよう グリーン：しぜん
ネイビー：ちょうわ パープル：せいしん
という意味がこめられています。

LGBTって？

LGBTとは、Lesbian（レスビアン）、Gay（ゲイ）、Bisexual（バイセクシュアル）、Transgender（トランスジェンダー）の頭文字をとって組み合わせた言葉です。性的少数者（セクシュアルマイノリティ）を表わす言葉の一つとして使われることもあります。



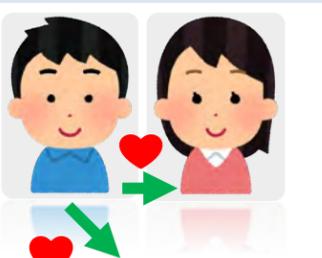
「LGBTパレード」 (Freepik.com)



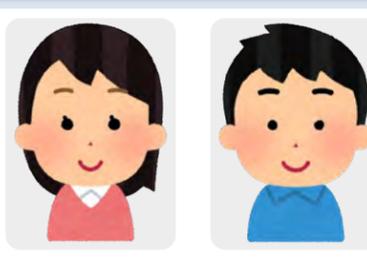
Lesbian（レスビアン）：こころの性が女性で、女性を好きになるひと。



Gay（ゲイ）：こころの性が男性で、男性を好きになるひと。



Bisexual（バイセクシュアル）：男性も女性も好きになるひと。



Transgender（トランスジェンダー）：生まれたときのからだの性と、こころの性に違和を感じるひとなど。

性的指向と性自認

性的指向とは、どんな性の人にみりよくを感じるか、ということです。
男性は女性を好きになり、女性は男性を好きになるひとがいますが、
・男性が男性を好きになるひと
・女性が女性を好きになるひと
・男性も女性どちらも好きになるひと
・どちらにも好きにならないひと
もいます。

性自認とは、自分の性・性別をどのように認識しているのか、ということです。
こころの性ともいわれます。また、からだの性からの特徴などによって判断される、ということです。
からだの性とこころの性が同じであるひとはいまいますが、からだの性とこころの性が違い、自身の体にどこか引っかかりを感じるひとたちもいます。



性的指向に関する世界地図

性的指向に関する法律は、国によって違う状況です。同性間の関係を犯罪とみなす法律がある国もあり、死刑や禁固刑などが適用される場合もあります。一方で、法による保護も広がっています。憲法によって法の下での平等が保証されている国、雇用の場などでの差別禁止法がある国、LGBTへの差別的言動がヘイトクライムと見なされる国もあります。2001年にオランダで同性間の結婚が可能になり、2013年にはイギリス、フランス、2015年にアメリカ、2017年にドイツ、オーストラリア、2019年にはオーストリア、台湾でも同性間の結婚が可能になりました。現在、G7で国レベルの同性パートナーへの法的保障がないのは日本のみとなっています。日本は、同性間の関係は犯罪ではありませんが、包括的な差別禁止法はなく、同性間では結婚もできない国であり、国連人権理事会などから人権侵害であると指摘を受けている状況です。

犯罪化・迫害

- 死刑 12カ国
- 禁固刑 10年～終身 ... 28カ国
- 禁固刑 最大8年 または刑罰不確定 ... 29カ国
- 事実上違法 14カ国
- 犯罪化・承認なし

パートナー関係の承認

- 婚姻 29カ国
- 婚姻とほぼ同等の代替制度 33カ国

1つの国の中で半分以上の地域が平等な結婚を認めている場合は、その国は濃い青色（婚姻）で表示されています。

【注1】パレスチナのガザ地区では成人同性間の性的行為が違法とされている
 【注2】インドネシアではアチェ州や西スマトラ州の一部地域において、成人同性間の性的行為が違法とされている
 【注3】コスタリカでは2020年5月までに同性婚が成立予定
 【注4】ニューハンプシャー州はLGAの調査で対象外

この地図は「性的指向に関する世界の法律」(LGA World 2019)を参考に、2020年1月までに同性婚が成立した国を加味して、虹色ダイバーシティで制作しました。ご意見いただいた皆さまに感謝します。
 2020年1月時点 | 制作：認定NPO法人 虹色ダイバーシティ

「性的指向に関する世界地図」 (2020特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ)

オリンピックからみえる多様性

オリンピックからみえる多様性

2012年

ロンドンオリンピック

イギリスのロンドンで開かれた大会では、選手があえて自身の性的指向を公表し、LGBTについて広く知ってもらおうと求める動きが注目されました。大会では「多様性」がテーマだったからです。

この時、23人の選手が自らLGBTであると公表しました。



ロンドンオリンピックのスローガン フォート・キシモト

「Inspire a Generation」次世代へ息吹を



ソチオリンピックのスローガン フォート・キシモト

「Hot. Cool. Yours」

ホットでクール みんなの大会

びっくり!



ロンドンオリンピックの時からLGBTだと言う選手がいたんだ!



フォート・キシモト

みてみよう①

2014年

ソチオリンピック

ロシアでは、冬季オリンピックソチ大会の前年(2013年)に、「自分の性と同じ性のひとを好きになること(同性愛)は子どもに良いことだ、普通のことだと認める、または伝える」ことが法律で禁止されました。

この法律ができた後から、同じ性を好きになるひとたちに嫌がらせやひどいことを言って心を傷つけるひとが目立つようになりました。

これを受け、ソチオリンピックに参加することをやめよう(ボイコット)と、ヨーロッパやアメリカの大統領や、首相などが開会式に参加しませんでした。

良くないできごとだね。

う〜ん...



みてみよう②

2016年 リオデジャネイロオリンピック

ソチオリンピックで起きた問題から、差別という境界をなくして宗教、人種、性別などを超えた「多様性」をモットーに始まりました。

本大会は今までの大会で最も多い、56人の選手が自らLGBTであることを公表しました。



フォート・キシモト

なるほど！

2014年の終わりにオリンピック憲章のオリンピズムの根本原則第6項を変更したんだね！



そうそう！



第6項に「性的指向」による差別の禁止と、人権尊重の意志を強く示したよ。

2020年 東京オリンピック

大会が開かれることに向けて、LGBTなど「多様性」についての情報発信とコミュニケーションの場として、プログラムを提供する「プライドハウス東京」がオープンしました。

これは、日本初の常設の総合LGBTセンターとして、次世代のLGBTの若者が安心して集まれる居場所づくりを目指しています。



東京オリンピックのスローガン

「感動で、私たちは一つになる」



プライドハウス東京2019の活動風景

プライドハウスは、2010年冬季オリンピックバンクーバー大会の時に、スポーツをきっかけとして多くのひとからの注目が集まるタイミングをみて、地元のNPOが期間限定で立ち上げたのが始まりです。

まとめ

あなたが誰かを好きになったり、誰も好きにならなかつたり、自身の心や体に違和を感じていても問題はありません。

もし、友だちや家族が自らのセクシャリティを打ち明けた時、話をしっかり聞いてあげてください。そして、打ち明けたひとの気持ちを大切にしましょう。

その時、相手の気持ちを無視して別の誰かに話したり、傷つけたりするのは絶対にやめましょう。

オリンピックは、さまざまなテーマを持ちながら開かれてきました。

ここ数年は、「みんな違ってみんないい」ということを認める「多様性」をテーマに開いています。このことは、オリンピック憲章のオリンピズムの根本原則第6項に書かれています。

みんなが違うからこそ、みんなが幸せになれる。そういう世の中になっていくといいなと思いませんか？

あなたの味方は、世界中にいます。